

回覧

区長承認

志

仁

礼

コミュニティ・スクール
大野城市立平野中学校

平野の風

令和2年5月25日発行

第1号 文責 校長

校長 日下部 達矢

副校長 原 佳織

教頭 大津 圭介

校長の窓・・・

学校での教育活動が再開しました！

平野中学校の教育目標

「志をもって学び、郷土を愛し、共に高め合い、未来を切り拓いていく生徒の育成」

◆令和2年度がスタートしました◆

本来であれば桜の季節に「平野の風第1号」を発行するはずでしたが、臨時休業の延長に伴い初夏の季節となってしまいました。3月2日（月）から新型コロナウイルス感染防止対策のため急遽、臨時休校となりました。子どもの姿がない学校、子どもの声が聞こえない学校はとても寂しく、いかに子どもたちの元気な声や姿に私たち教職員は励まされながら教育活動を行っていたのかを再認識した3か月間に渡る臨時休業の期間でした。

4月7日には福岡県にも緊急事態宣言が出され、いつ収束するか分からない不安な状況が続き、外出自粛など、当たり前が当たり前ではない現実、最も不安を抱いていたのは生徒の皆さんであったと思います。「早く学校に行って、友だちに会いたい。」「部活動で思い切り体を動かしたい。」そのような思いを抱きながら、家庭での生活を余儀なくされていたでしょう。日常の何気ない生活が、当たり前とっていたことが、いかに幸せなことであるかを痛感した期間でもあったと思います。

4月25日（土）から28日（火）の4日間、入学式を「入学手続き会」に変更して新入生296名を迎え、4月30日（木）に新3年生を、5月1日（金）には新2年生を分散登校させて、新学級ならびに新担任の発表を行うことができました。そして、本日、1年生296名、2年生310名、3年生307名、全校生徒913名で令和2年度をスタートすることができましたことが最大の喜びです。まだまだ感染拡大防止と予防を第一に考えて教育活動を実施するため、生徒には不自由を感じさせることになると思いますが、教職員一同、一丸となって生徒それぞれの新たな決意や思いを大切に、一人一人をさらに伸ばしていきます。

本年度、学校の教育目標を「志をもって学び、郷土を愛し、共に高め合い、未来を切り拓いていく生徒の育成」と、下線部の部分を変更しています。平野中学校に在籍する生徒相互に、そして生徒と教師がお互いに自分自身を高め合える関係をつくること。そして今後、予測困難な時代が訪れようとも『**平野の3つの魂～仁・志・礼～**』を胸に抱き、逞しく未来を切り拓いていく人に成長して欲しいという願いを込めています。さらに、「**5つの愛～出あい・認めあい・教えあい・励ましあい・高めあい～**」を教育活動の柱として、思いやりの心を育み、人権感覚を醸成する取組を推進していきます。中学校3年間で子どもたちは大きく成長します。その成長のためには家庭と学校の信頼関係が何より大切であると思っています。保護者の皆様と教職員が手を取り合って、将来の大野城市を、そして日本を支えていく子どもたちを育てていきたいと思っています。

通常登校は6月1日（月）からになりますが、今後ともこれまで同様、学校の教育活動、そしてPTA活動にご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

4月の人事異動でこれまでお世話になった15名の先生方が平野中学校を去られ、新たに18名の先生方との出会いがありました。新2年生・3年生には家庭訪問で配付した学校だよりでもお知らせをしています。

－ 離任された先生方 －

- 金子 禎 先生 (筑紫野南中)
- 柿田 泰子 先生 (大利中)
- 小川 美穂子 先生 (筑紫野南中)
- 早淵 一郎 先生 (二日市中)
- 大道 和枝 先生 (那珂川南中)
- 吉原 大輔 先生 (粕屋東中)
- 中川 宅杜 先生 (春日東中)
- 野中 愛美 先生 (大野中)
- 大島 寛昭 先生 (筑紫野中)
- 麻崎 敬子 先生 (退職)
- 白水 幸恵 先生 (退職)
- 片木 敏彦 先生 (那珂川北中)
- 古賀 絢子 先生 (退職)
- 郷園 和明 さん (退職)
- 柳元 正隆 さん (退職)
- ◇前川 優 先生 (育児休暇)

平野中学校での勤務期間に長短はありましたが、全ての先生方には熱心に本校の教育活動に取り組んで頂きました。

新たな赴任先でのご活躍を心から祈念しています。

－ 赴任された先生方 －

- 家村 ひかり 先生 (初任) 国語
- 笠原 滯 先生 (初任) 社会
- 上田 裕貴 先生 (初任) 音楽
- 坂口 具史 先生 (春日北中) 保健体育
- 佐々木 司 先生 (筑紫野南中) 保健体育
- 脇坂 陽子 先生 (豊津中) 保健体育
- 丸山 久善 先生 (志免南小) 社会
- 石田 みやび 先生 (篠栗中) 国語
- 松尾 節哉 先生 (太宰府東中) 英語
- 坂田 佳代 先生 (太宰府中) 美術
- 武田 亜紀子 先生 (学学院中) 美術
- 中塚 幸子 先生 (学学院中) 養護
- 小森 優 先生 (県教育センター) 養護
- 川崎 房雄 先生 アザレア教室 S T
- 野田 由恵 さん 学習室介助員
- 小河 乙美 さん 学習室介助員
- (旧姓 内窪 乙美)
- 阿部 優子 さん 事務補助
- 戸祭 敏之 さん 用務員

新たな出会いを大切にして、教職員70名で平野中学校に在籍する全ての生徒のために、「目標の達成まで粘り強く頑張る力を高める」教育に取り組んでまいります。

安全・安心で楽しい学校生活をすごすために

日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」の一部を紹介します。

負のスパイラルで“感染症”が広がる

この「感染症」の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで、負のスパイラルで「感染症」が広がる。

- ①未知なウイルスが多いため不安が生まれる
- ②人間の生き残りよつとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける
- ③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く

3つの“感染症”は どうつながっているの？

第1の“感染症”
「病気」

第2の“感染症”
「不安」

第3の“感染症”
「差別」

第1の“感染症”を
ふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。

手洗いしっかり

9

第2の“感染症”に
ふりまわされないために

不安や恐れは私たちの
気づく力
聴く力
自分を支える力
を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。

12

第3の“感染症”を
ふせぐために

不安を煽ることは病気に對する偏見や差別を強めます。

「確かな情報」を拡めましょう。

・ 差別的な言動に同調しないように
しましょう。

コロナのやつ出ていけ
そつた

16

自分の安全・安心を守ることは、家族の、友だちの、そして自分に関わってくれる全ての人たちの安全・安心を守ることに繋がります。登下校も含めて、感染症の拡大を防ぐ・予防をする行動をとるようにしましょう。